

利用されていない農産物(野菜・果物・米等)を フードバンクに寄付してみませんか？

フードバンクを通じて、未利用の“もったいない”
農産物(野菜・果物・米等)も有効活用できます！

日本では、まだ食べられるのに捨てられてしまう、いわゆる食品ロスが、年間621万トン発生しています。

これは、国民1人当たり、毎日、お茶碗約一杯分のご飯を捨てている量に相当します。

また、農産物の生産・流通には、多くのエネルギーや資材、労働力が費やされています。



食料を必要な方に届けるフードバンク活動が、NPO法人を中心として国内で広がっており、規格外農産物など、未利用の“もったいない”農産物が有効に活用されています。

生産者、JA、市場関係者の皆さんも、利用されていない農産物の提供について、フードバンクに問い合わせてみましょう！

(農産物の回収について、柔軟に対応できる場合があります)

生産者、JA、市場



農産物を提供
(規格外農産物など)

フードバンク



福祉施設などに寄付

福祉施設など



全国のフードバンクの連絡先はこちら

[http://www.maff.go.jp/j/shokusan/
recycle/syoku_loss/img/170412.html](http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/img/170412.html)

QRコード→



取扱可能な農産物の例



規格外農産物



余剰生産
(一時的でも可能)



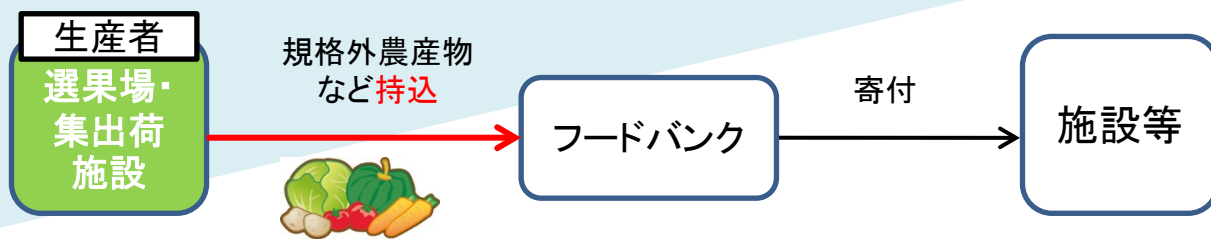
直売所の
売れ残り



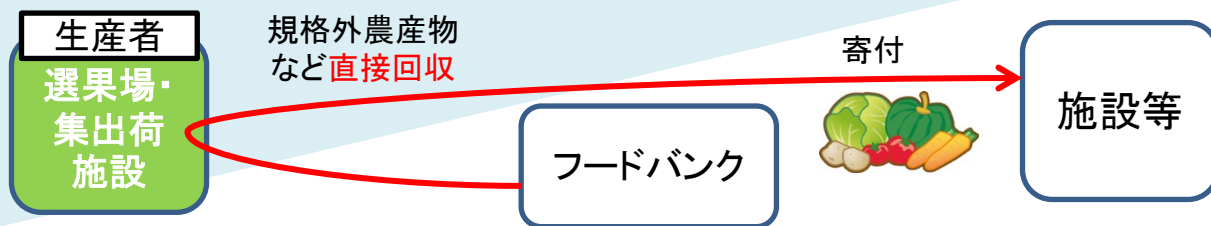
輸送段階で箱
が傷んだもの

様々な農産物の提供の例

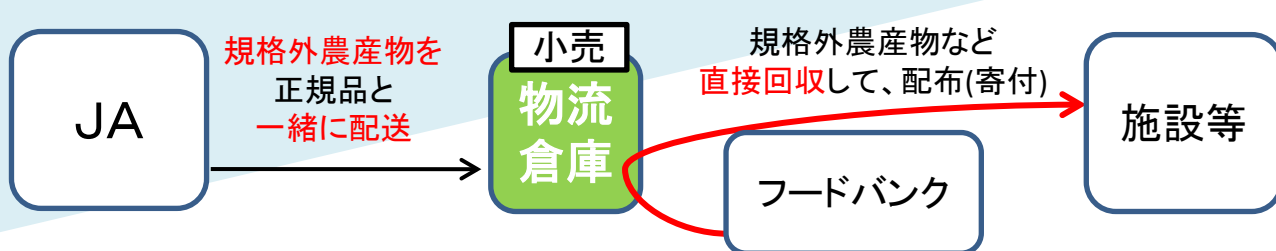
生産者が、フードバンクへ食品を届ける場合



生産者が、フードバンクに直接回収してもらう場合



JAが、小売を通じてフードバンクに回収してもらう場合



市場が、フードバンクに直接回収してもらう場合

